

町民アンケート調査（町民向け構想理解度調査）

（1）調査目的

聖籠町において、今後「生涯活躍のまちの実現に向けて取り組むべきか」を判断するための基礎情報を得るために、聖籠町在住者に対し、生涯活躍のまち構想に対する認知度・関心、期待・懸念等に係るアンケート調査を実施した。

（2）調査方法・対象

聖籠町内に居住する20歳以上の者より無作為に1,000人を抽出し、アンケート調査票を配布した。その結果、計371人分（回収率37.1%）の有効回答を得た。

回答者の性別・年齢の内訳は以下のとおりである。

■回答者の内訳（性別・年齢）

| 聖籠町在住者 : 371人 | | | |
|---------------|----|----|-----|
| | 男性 | 女性 | 合計 |
| 20歳代 | 19 | 22 | 41 |
| 30歳代 | 22 | 43 | 66※ |
| 40歳代 | 28 | 35 | 63 |
| 50歳代 | 32 | 23 | 55 |
| 60歳代 | 31 | 46 | 77 |
| 70歳代以上 | 37 | 32 | 69 |

※性別無回答1名

（3）調査期間

平成29年1月6日～1月20日

(4) 町民アンケート調査結果

生涯活躍のまち構想に係る町民アンケート調査の主な結果は、下記のとおりである。

構想の認知度 ⇒ 高い年齢層ほど認知度が高い傾向

- ・ 構想の「内容まで（多少）知っている」は約 15%、「聞いたことはある」が約 27%であり、構想の認知度は 40%強となる。
- ・ 「60 歳以上」の高い年齢層においては認知度が 60%に達し、「20～30 歳代」、「40～50 歳代」よりも遥かに高い認知度となる。

構想の関心度 ⇒ 高い年齢層ほど関心度が高い傾向

- ・ 構想に対し「(どちらかと言えば) 関心がある」は約 52%となり、半数強が構想への関心を有することがうかがえる。
- ・ 「60 歳以上」の高い年齢層においては「(どちらかと言えば) 関心がある」が 60%に達し、特に関心度が高い。

構想に期待すること ⇒ 特に高い年齢層において医療・介護面に対する充実を重視する傾向

- ・ 構想に期待することとして、「医療と介護との連携強化」、「介護サービスの充実」、「地域医療体制の充実」の回答が各々40%前後と多く、医療・介護に係る期待が特に高いことがうかがえる。
- ・ 「60 歳以上」の高い年齢層において上記の傾向が顕著である一方、「20～30 歳代」においては、「雇用機会の創出」や「地域経済の活性化」の回答が各々30%弱と多く、世代間で構想に期待する内容が異なることがうかがえる。

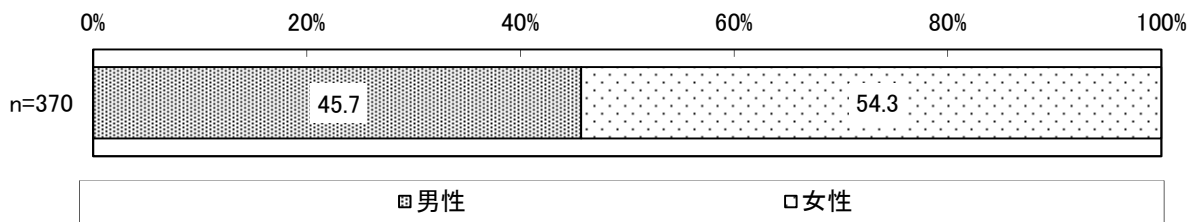
構想で懸念すること ⇒ 年齢層が高く、関心を有する者ほど高齢化の進行や介護保険料の負担増を懸念する傾向

- ・ 構想で懸念することとして、「高齢者が増加し高齢化がさらに進む」、「介護保険料がアップする」の回答が各々40%強と多く、構想実現に伴う高齢化の進行、介護保険料の負担増に対する懸念が大きいことがうかがえる。
- ・ この傾向は特に 60 歳以上の高齢者、あるいは構想に関心を有する者において顕著であった。

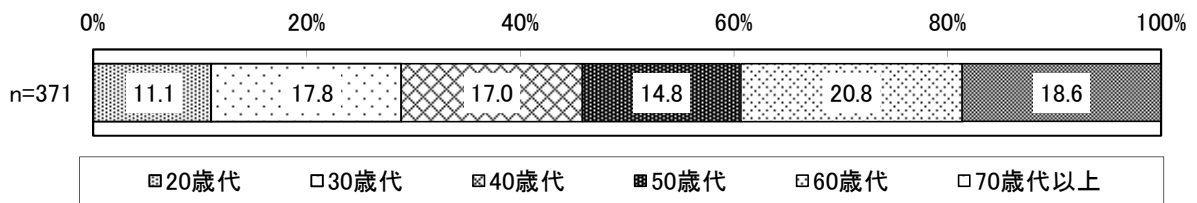
構想の取組への希望 ⇒ 年齢層が高く、在住年数が長い者ほど取組に肯定的な意見が多い傾向

- ・ 構想の取組に対し、「(どちらかと言えば) 取り組むべき」が 41%となり、「(どちらかと言えば) 取り組むべきではない」の約 12%を大きく上回ることから、全体的に取組に対して肯定的な見解を有する者が多いことがうかがえる。
- ・ 特に「60 歳以上」の高い年齢層、あるいは在住年数が「20 年以上 30 年未満」の長期滞在者において、肯定的な意見の割合が多かった。

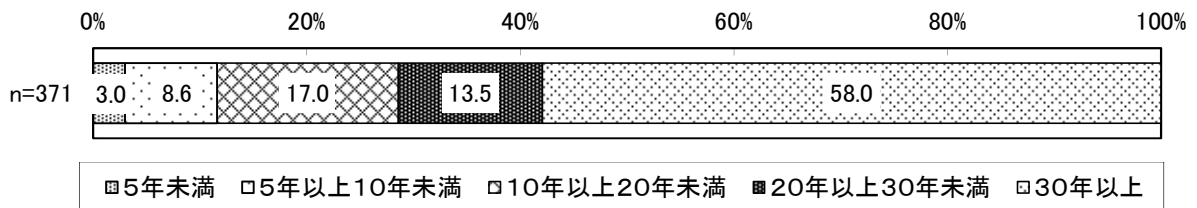
① (性別)



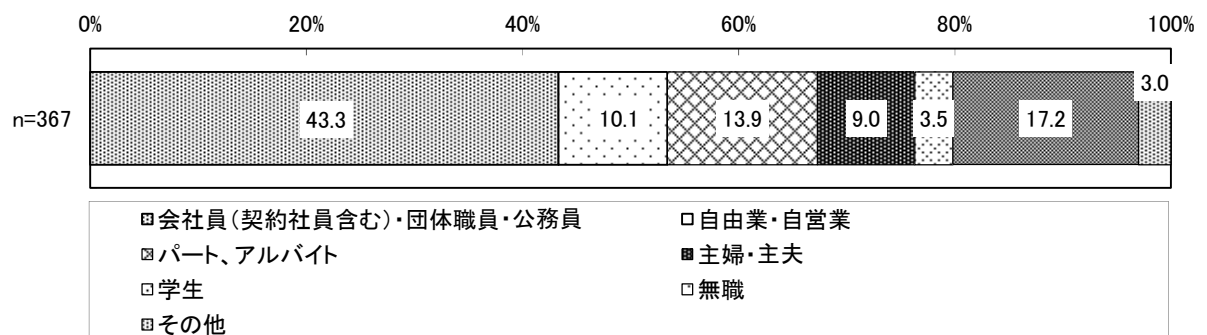
② (年齢)



③ (在住年数)



④ (職業)

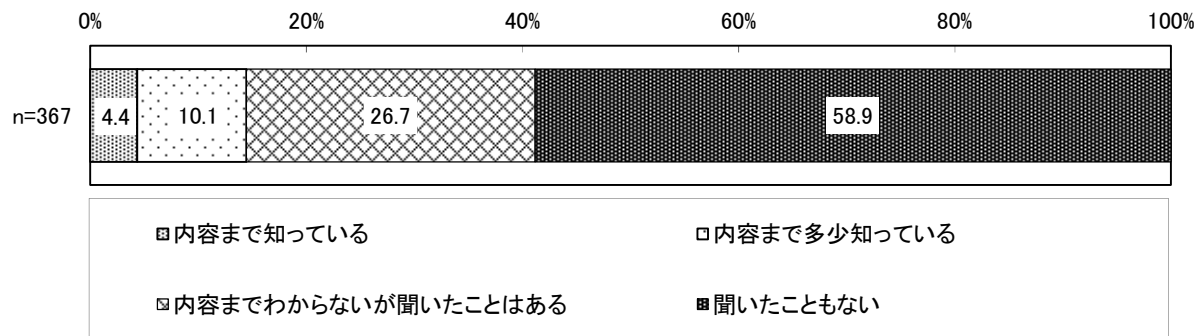


⑤ 「生涯活躍のまち」の認知度

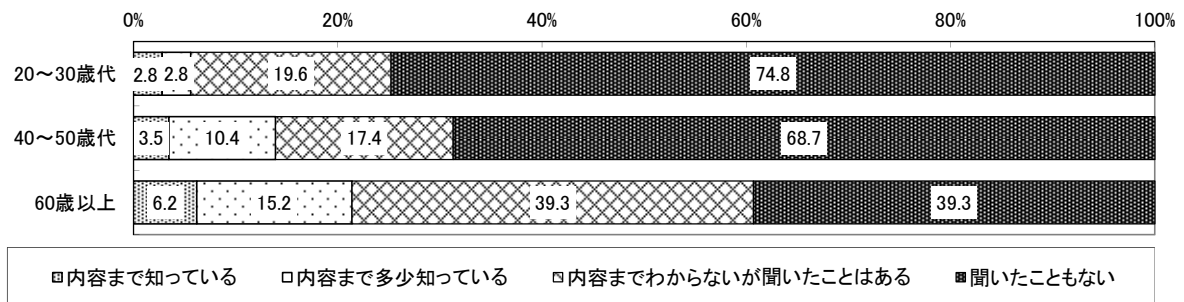
「生涯活躍のまち」の認知度について尋ねたところ、「内容まで知っている」が 4.4%、「内容まで多少知っている」が 10.1%、「内容までわからないが聞いたことはある」が 26.7%であり、認知している割合は計約 40%程度であった。

年齢別に見ると、「20～30 歳代」、「40～50 歳代」において認知している割合が 20～30%程度であるのに対し、「60 歳以上」になるとその割合が約 60%に増加する。

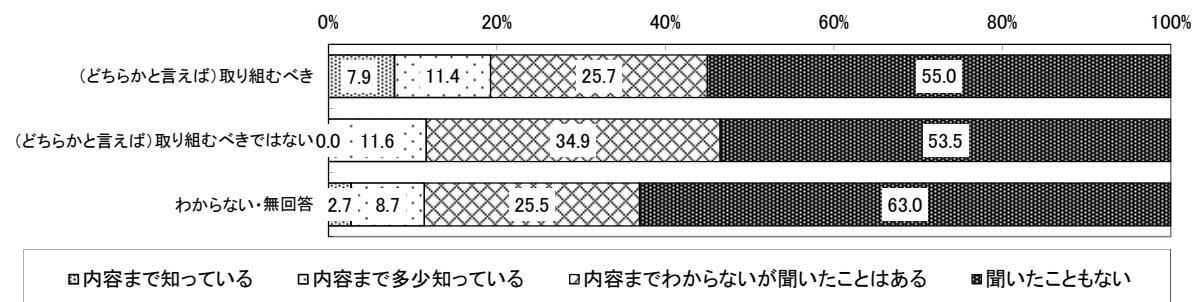
【全体】



【年齢別】



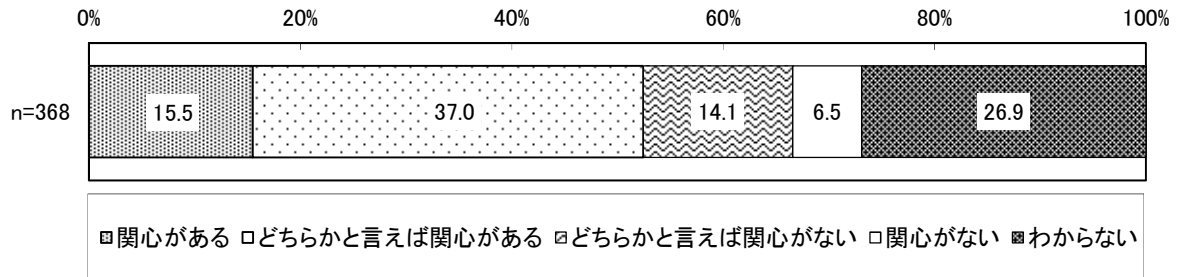
【取組への希望別】



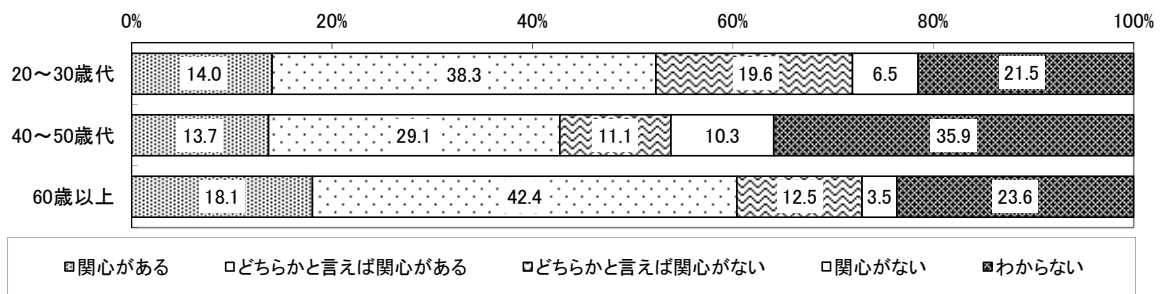
⑥ 「生涯活躍のまち」への関心度

「生涯活躍のまち」への関心度について尋ねたところ、「関心がある」が15.5%、「どちらかと言えば関心がある」が37.0%であり、約半数が「生涯活躍のまち」への関心を有することがうかがえる。年齢別に見ると、「20～30歳代」、「60歳以上」の世代で、関心を有する割合が過半を占める。

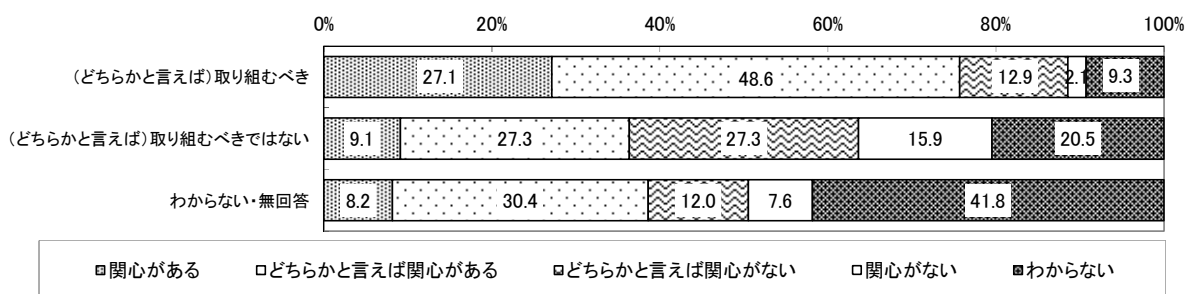
【全体】



【年齢別】



【取組への希望別】

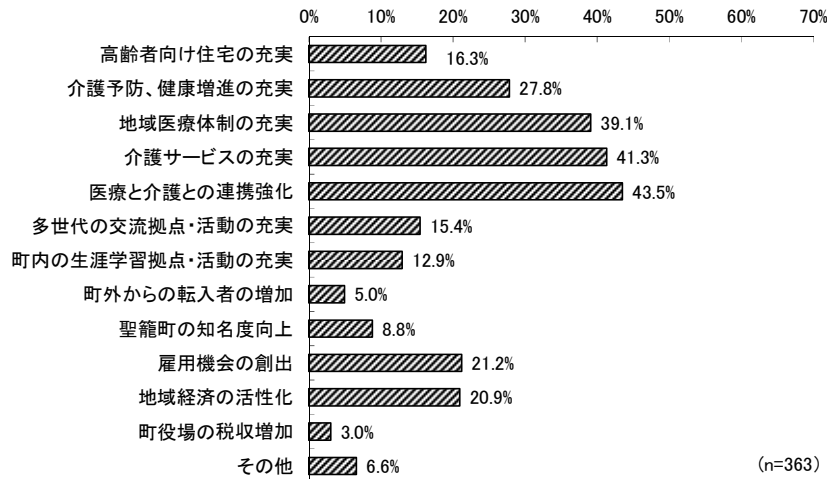


⑦ 「生涯活躍のまち」に期待すること

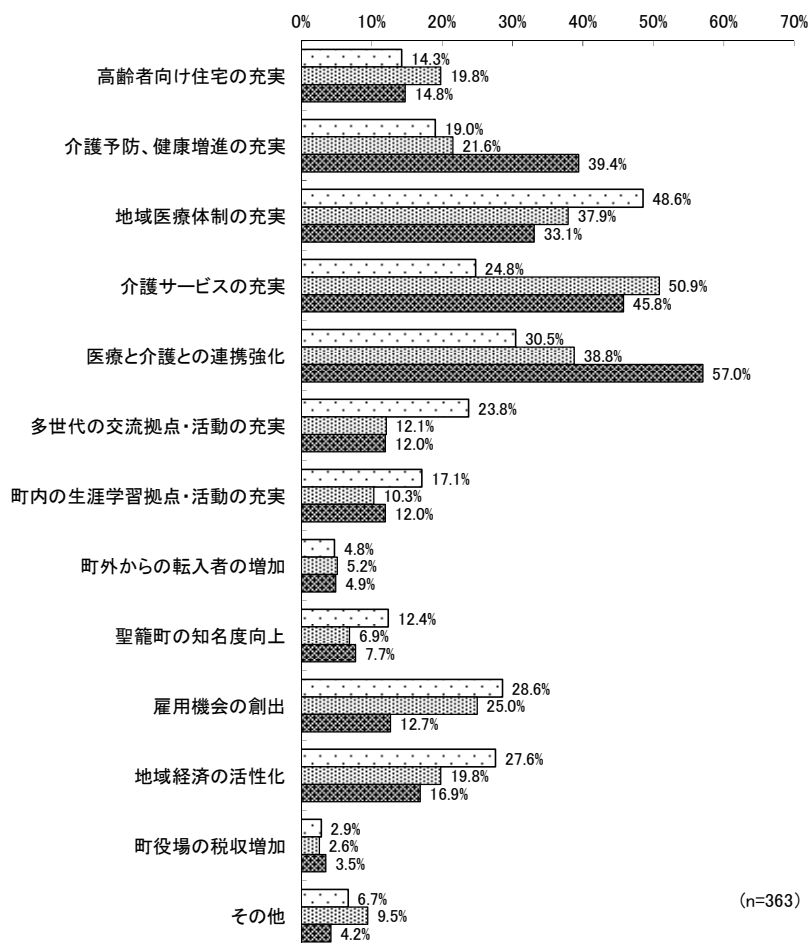
「生涯活躍のまち」に期待することを複数回答で尋ねたところ、「医療と介護との連携強化」が43.5%、次いで「介護サービスの充実」が41.3%、「地域医療体制の充実」が39.1%であった。雇用創出や経済活性化以上に、医療・介護面に対する期待が高いことがうかがえる。

年齢別に見ると、特に「60歳以上」の高齢層においてこの傾向が顕著だが、「地域医療体制の充実」については、「20～30歳代」における期待値が特に高い。

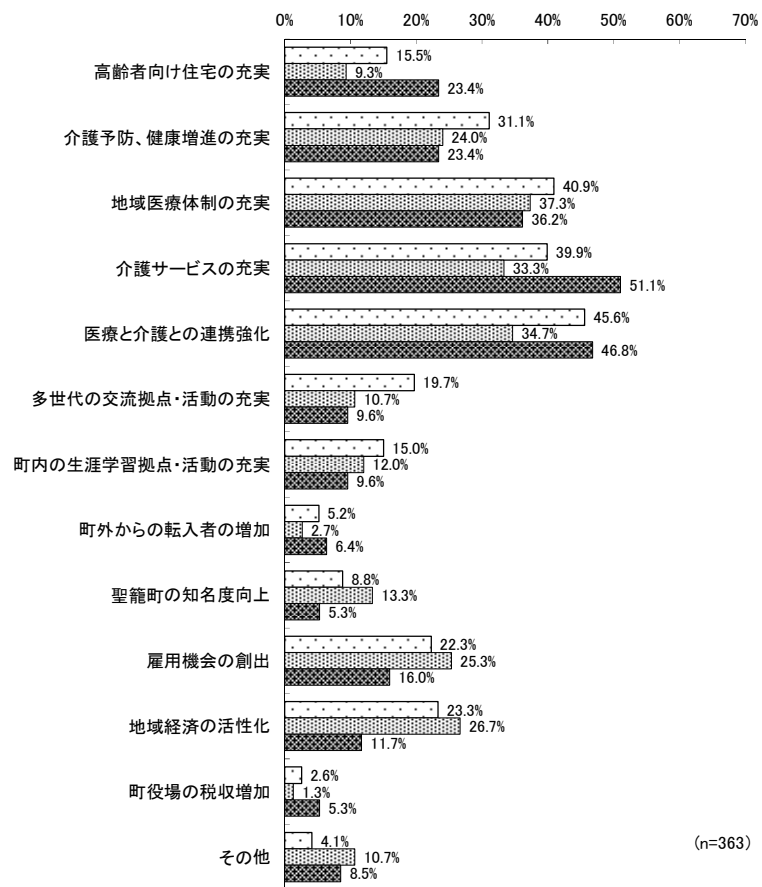
【全体】



【年齢別】（上段：20～30歳代、中段：40～50歳代、下段：60歳以上）



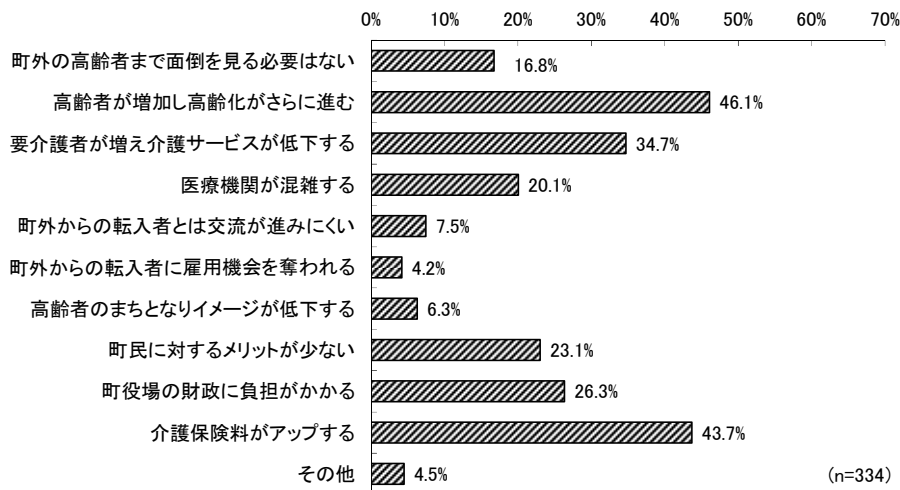
【関心度別】（上段：（どちらかと言えば）関心がある、中段：（どちらかと言えば）関心がない、
下段：わからない）



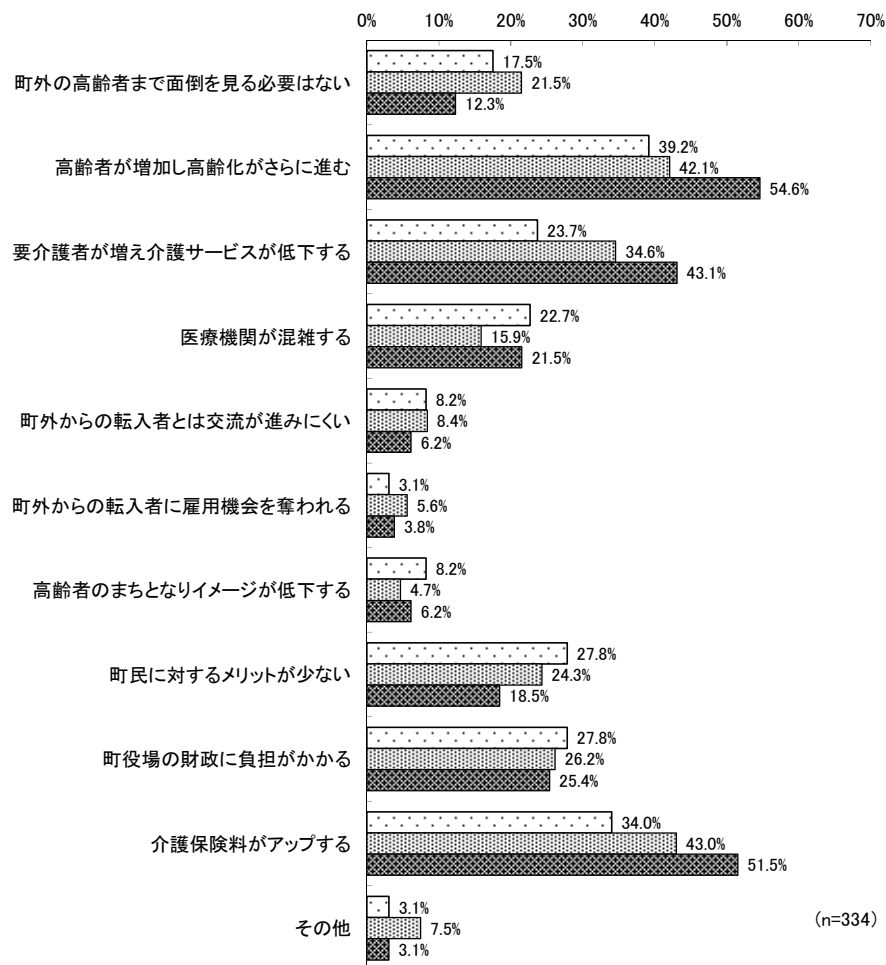
⑧ 「生涯活躍のまち」で懸念していること

「生涯活躍のまち」で懸念していることを複数回答で尋ねたところ、「高齢者が増加し高齢化がさらに進む」が46.1%、次いで「介護保険料がアップする」が43.7%であった。地域の高齢化、並びにそれに伴う自身の財政負担に対する懸念が大きいことがうかがえる。この傾向は「60歳以上」の高齢者、あるいは生涯活躍のまちに関心を有する層において、特に顕著であった。

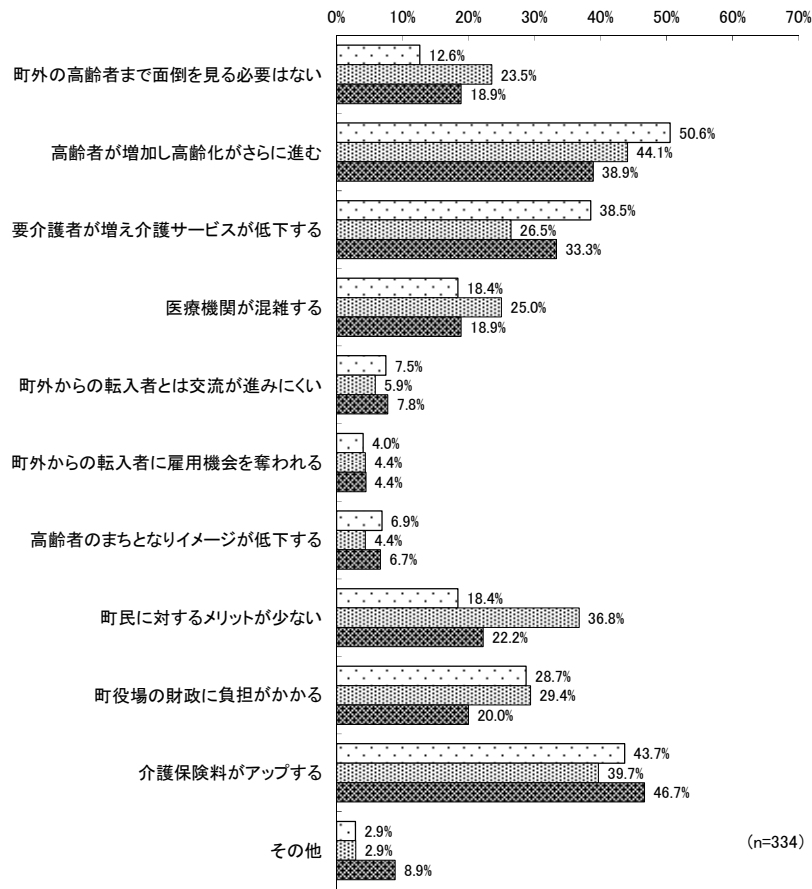
【全体】



【年齢別】（上段：20～30歳代、中段：40～50歳代、下段：60歳代以上）



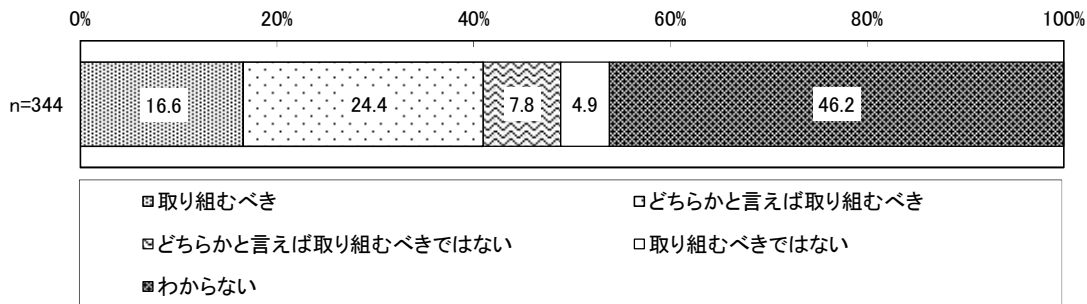
【関心度別】（上段：（どちらかと言えば）関心がある、中段：（どちらかと言えば）関心がない、
下段：わからない）



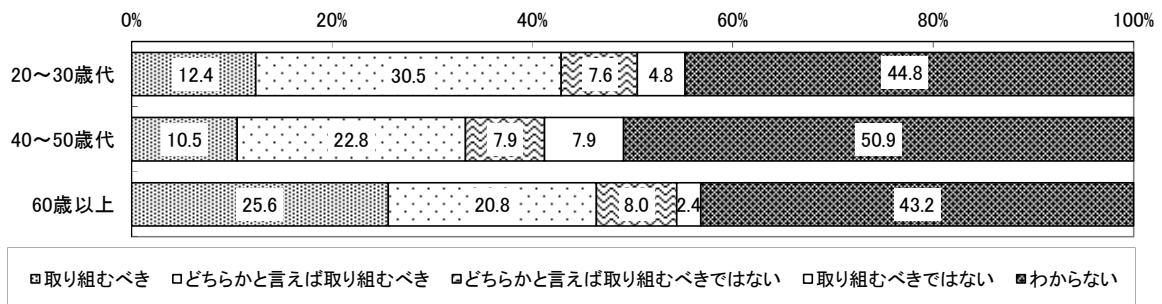
⑨ 「生涯活躍のまち」の取組への希望

「生涯活躍のまち」の取組への希望を尋ねたところ、「(どちらかと言えば) 取り組むべき」が41.0%となり、「(どちらかと言えば) 取り組むべきではない」の12.7%を大きく上回った。「60歳以上」の高齢者、在住年数が「20年以上30年未満」の層において、特に肯定的意見/否定的意見の差が大きかった。

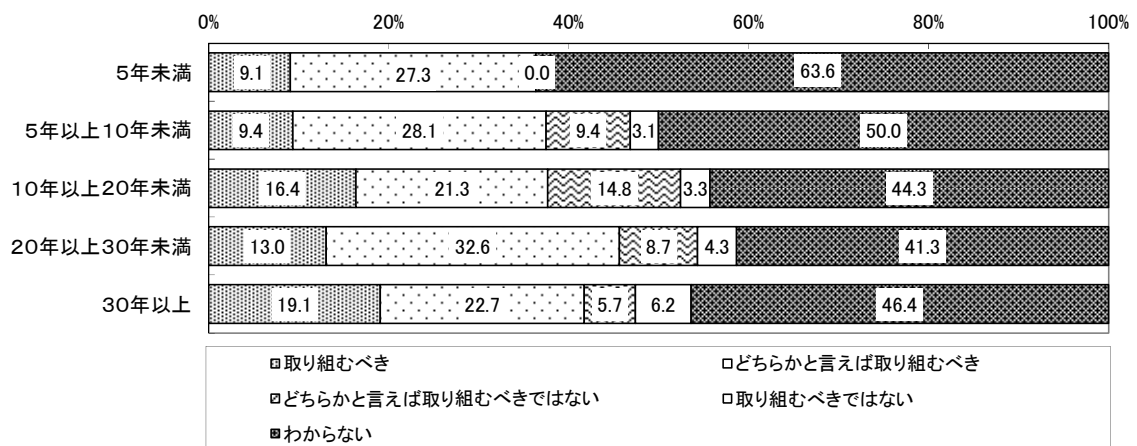
【全体】



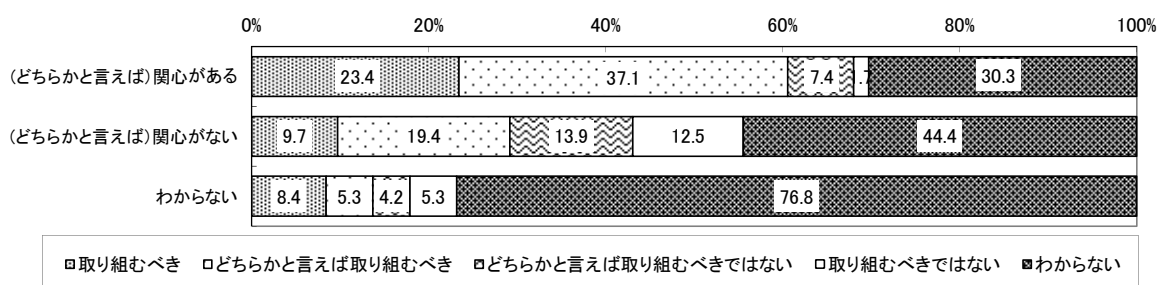
【年齢別】



【在住年数別】



【関心度別】



⑩ 「生涯活躍のまち」に取り組むべき/取り組むべきではない理由

「生涯活躍のまち」の取組への希望について、「(どちらかと言えば) 取り組むべき」、「(どちらかと言えば) 取り組むべきではない」との回答について、各々その具体的な理由を尋ねたところ、「(どちらかと言えば) 取り組むべき」については、主に少子高齢化に対する介護・医療サービスの充実や世代間交流の促進、雇用創出に係る回答が挙げられた。

一方、「(どちらかと言えば) 取り組むべきではない」については、医療・介護費用の負担増、特に若年層に対する負担増の他、「生涯活躍のまち」構想そのものの理解度不足に係る回答が挙げられた。

■ 「生涯活躍のまち」の取組への希望に関する主な意見（順不同）

| 取り組むべき理由 | 取り組むべきではない理由 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・町の活性化、世代間の交流促進に繋がるため ・ 少子高齢化が進んでおり、将来的に介護・医療サービスや施設が不足することが懸念されるため ・ 予防介護や医療連携、地域包括ケアシステムに取り組んでもらいたいため ・ 健康寿命を延ばし、医療費を抑制するため ・ 取組自体を町の魅力の一つとして対外的にPRするため ・ 医療機関の充実等により、若者を中心とした雇用の場が増えるため ・ 若年層や子供の活躍の場を実現するため | <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護費の負担が増加するため ・ 構想実現に向けて、地域住民との協議の場が足りないため ・ 構想の内容が十分に示されていない/理解できないため ・ 多世代共生は現実的に難しいと考えるため ・ 現状でも十分に手厚い福祉政策が提供されているため ・ 若年層の負担が増えるため/若年層に対するメリットが少ないため ・ 子育て支援等、他の政策を重要視するべきと考えるため |